

資料 2

生駒北小中学校の小中一貫教育について

生駒市生駒北小中学校
校長 中井 一郎

1 小中一貫教育の成果について

① 様々な形で異学年交流

- ・中学生には小学生の模範となるような「自覚」が生まれ、小学生には良い模範が身近にあることが「目標」「憧れ」となり、良い相乗効果を生んでいる。
- ・学校行事を小学校と中学校が合同で実施している。(入学式、運動会、文化発表会、始業式、終業式等)

② 中1ギャップの解消

- ・施設一体型の小中一貫教育のため、同じ校舎で9年間を過ごすことにより、小学生が中学校に進学する不安が少ない。
- ・今年度、中学校1年生の学級担任は、昨年度に小学校6年生の理科を担当していた。中学校に入学した時には、新入生の顔と名前、性格を知っているので、お互いに安心感が大きい。

③ 小中の教員が協働（より深く児童生徒の理解が深まる）

- ・小中合同の学校行事に向けて、全教職員が一斉に協力して取り組んでいる。
- ・中学校の教員が、生徒のことを、すぐに小学校の教員に聞ける。
- ・小学校と中学校で、生徒指導の連携が取れる。(系統性のある生徒指導)(生活規律の定着)
- ・小学校と中学校の教職員間で、お互いの良さを取り入れる意識が向上する。
- ・いじめや不登校、暴力行為の減少。

④ 中学校教員の専門性を生かした小学校授業への関わり

- ・中学校の教員による乗り入れ授業が多く、より専門的・系統的な授業を展開している。
- ・児童生徒の学習意欲の向上につながっている。

⑤ 教職員の意見

- ・中→小への乗り入れ授業が多いので、小学校の専科導入の先駆けになっている。
- ・児童生徒について情報共有ができ、一緒に対応を考えられる。
- ・生徒にとっては自身を知ってくれている小中それぞれの教師がいるため、相談できる窓口が多くある。(保護者にとっても)
- ・中学校しか知らない教員(その逆も)にとっては、子どもの発達段階やそれに応じた指導方法を学ぶことができる。
- ・中学教員として、小学生の実態や発達状況などを理解することができる。
- ・小学生のころから、中学生が何をしているのかが同じ施設において体感、理解できるので、小学生が中学校へ行くことに対する不安感は少ないと思われる。
- ・中学生の進路指導についてもどのようにされているか小学校教員も聞く機会があり、小学生のうちから中学校を卒業した後を見通して指導や話をするができる。
- ・中学生の定期考査期間中は、小学生も家庭学習トライウィークとして、めあてをもって集中して学習する期間になっているので、中学校やその先を見越した家庭学習力が付く。
- ・教員にとっては、中→小の乗り入れ授業で、中学校での授業を意識した指導ができる。
- ・中→小の乗り入れ授業で、教員にとって、中学校入学前にクラスの様子や児童の個性を実感で

き、子ども理解につながる。

・ 普段の学校生活や運動会等の行事等で小中学校の交流がある為、中学校に進級する時の急激な環境変化が軽減できるので児童にとっては安心である。

2 小中一貫教育の課題について

・ 小学校の授業時間 45 分と中学校の授業時間 50 分を合わせて校時（チャイム）を設定する必要がある。（さらに短縮授業や授業の入れ替え、曜日変更など）

・ 小学校へ乗り入れている教員は、中学校の授業に加えて、小学校の授業の教材研究・授業準備が必要である。

・ 児童生徒は小学校と中学校で9年間、同じメンバーで学校生活を送ることから、同年代の多くの人と関わる機会が少ない。

・ 小学校と中学校の教職員が合同で校務等の会議を行う際など、部活動の指導があり、開始時刻が遅くなるなど、時間調整が必要である。

3 教育課程の特色

① 「音楽」「体育」で小学校教員が中学校に乗り入れ授業を行い、連続性と系統性がある教科指導を行う。

② 「算数・数学」「英語」で中学校教員が小学校5、6年生に乗り入れ授業を行う。

③ 中学校教員が小学校3、4、5年生に「書写」、小学校3、4、5年生に「図工」、小学校6年生に「理科」、小学校5、6年生に「家庭」で乗り入れ授業を行う。

④ 「総合的な学習の時間」で9年間を通した系統的な学習活動を行う。

⑤ 中学校2年生の数学、英語、美術、技術、家庭において少人数教科指導を実施する。

⑥ 中学校3年生の国語、数学、理科、英語、美術において少人数指導を実施する。

4 校時の特色

① 同一チャイムで全9学年が活動できる校時を採用している。

② 小学校5年生より50分授業を採用している。

③ 小学生の「中休み」「昼休み」を20分間確保している。

④ 中学生の学びタイムは、基礎・基本の学習（国語・数学・英語）、及びICT・読書活動の時間として活用している。

⑤ 中学校の朝の会において、中学生の読書の時間を確保している。

⑥ 昼休みは、縦割り活動や全校集会などの時間としても活用している。

⑦ 授業参観や学級懇談会等の学校行事の際は、短縮校時等の特別校時を設定している。

⑧ 水曜日5校時を全9学年とも「道徳」の授業とし、豊かな心を育てる時間として設定している。